

平成 29 年度

1. 目標

- 研究Ⅰ：前年度に引き続き心身機能検査（約 550 名）の測定会を継続して実施し、認知症疑い者延べ約 160 名（測定者数計 800 名）を早期発見する。
- 研究Ⅱ（認知症予防のための早期対応研究）は、平成 28 年に早期発見された約 50 名に対してパイロットスタディーを行い、多世代交流型の認知症予防プログラムを開発する。
- 研究Ⅲ（認知症の家族介護者への支援研究）は、認知症カフェの開所促進を図る。研究Ⅰで訪問した家族介護者への支援結果をもとに、家族支援プログラムを開発する。
- 研究Ⅳ（地域支え合いシステム構築研究）は、地域の認知症予防活動の運営を担う地域リーダーを養成するために地域認知症支援員講座を 4 回実施し、約 50 名の地域認知症支援員ボランティア登録を目指す。

2. 実施計画

- 研究Ⅰ：前年度同様の手順で心身機能検査の測定を実施する。約 800 名（健常群 80%、認知症疑い群 20%）のデータ収集を見込んでおり、横断的・縦断的に調査結果を比較検討する。なお、健常群は、一次予防として生活習慣病にならない体づくり等の病気の発症予防を行う。認知症疑い群は、二次予防として早期対応を行い、自治体が作成する認知症ケアパスの有効性を吟味することで、次年度から始動する認知症初期集中支援事業のモデルケースとする。
- 研究Ⅱ：パイロットスタディーは二次予防対象者を中心にする。実施にあたっては、認知症予防に関するエビデンスレベルの高い園芸療法アプローチや、久山町研究に代表される生活習慣病の予防介入（メタボ・サルコペニアの管理）等を参考にする。介入に際しては、専門職がリードし過ぎると参加者の主体性が低下する（受動性の強化）ことが問題視されているため、幼稚園児から大学生までの若年者を運営に参画させることで参加者の能動性を強化する。平成 29 年度は多世代交流型の地域の支え合いを重視する新しい認知症予防プログラムを開発するために、大学生を中心に参画させる。また、併せて「ADL および運動習慣の管理」「認知症予防の情報提供」「徘徊による行方不明予防」等が支援できるようなアプリ開発を、ICT 企業と協力し始動する。

研究Ⅱ 認知症予防早期対応研究

- ▼ 徒歩で通える地域の公民館を利用し、月1～2回活動する。
- ▼ 従来の体操や脳トレーニング中心ではなく、どんな活動がしたいのかを主体的にプランニングし、実行するまでをサポートする。特に通所していない日の運動習慣の管理を徹底する。

具体的な
メニュー

- ・育てる、収穫、料理を促す園芸療法アプローチ
- ・幼～大学生が参加する多世代介入アプローチ
- ・本気でダイエットする認知行動療法アプローチ（脳血管性認知症予防）



- ▼ 研究Ⅰで、認知症（介護）予防の効果判定を行う。

研究Ⅳ

認知症支援ボランティアを養成し、活動の場にする共に、地域貢献することが、彼らの認知症（介護）予防になるのかを検証する。

図1 研究Ⅱの具体的なメニューと研究Ⅳとの連携

● 育てる, 収穫, 料理を促す園芸療法アプローチ

植物・園芸療法を取り入れることで、**植える→育てる→収穫する**
→調理する→食べるの長期記憶を刺激するサイクルが生まれる。



図2 園芸療法アプローチのコンテンツサイクルイメージ

● 幼～大学生が参加する多世代介入アプローチ



図3 幼～大学生が参加する多世代介入アプローチのコンテンツイメージ

- **研究Ⅲ:**佐賀県の19市町村のすべてに認知症カフェのオープンを働きかける。研究Ⅰで訪問した家族介護者への支援結果をもとに、支援の例をまとめたマニュアルを作成する。家族支援プログラムの作成にあたっては、認知症ケアとリハビリテーションの有識者および当事者家族による検討委員会を設置し、介護スキルの向上やセルフストレスマネジメントが実践できるプログラムとする。

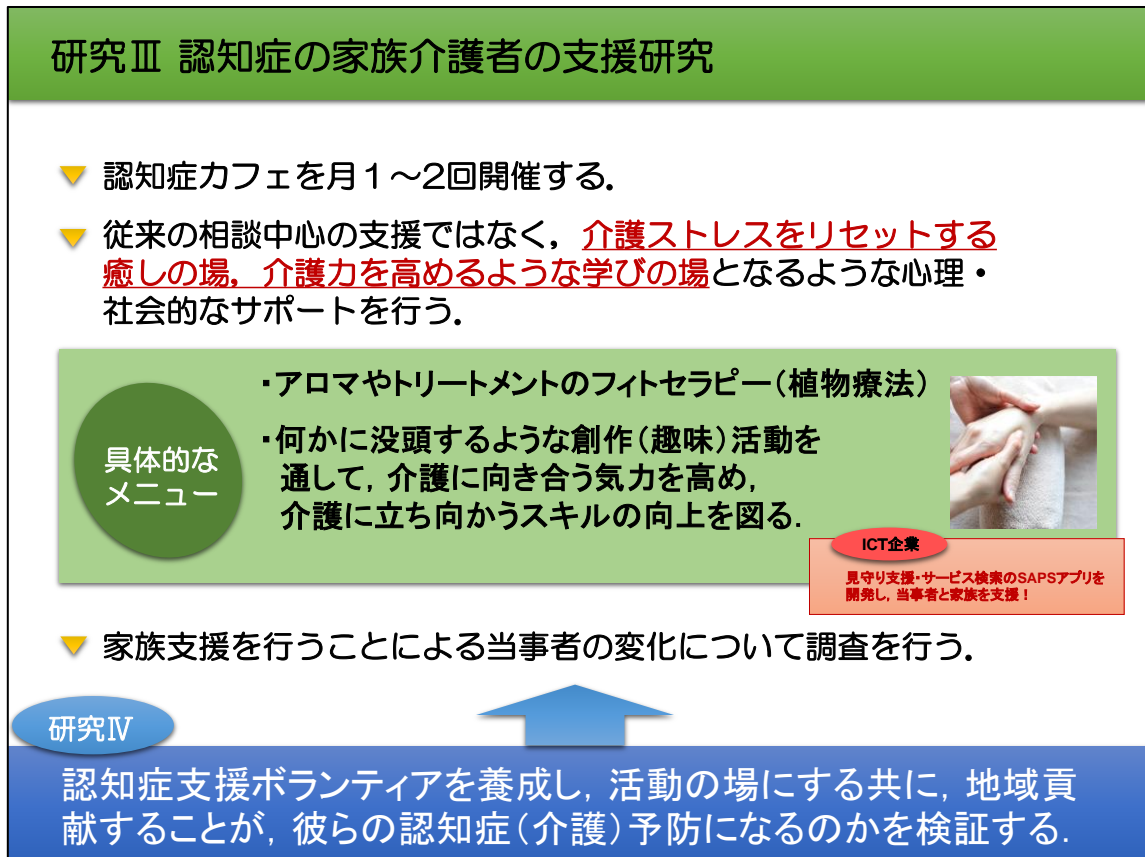


図4 研究Ⅲの具体的なメニューと研究Ⅳとの連携

- **研究IV:**地域リーダーを養成するために地域認知症支援員講座を年4回実施する。講座内容は、第一回目「認知症の病気の理解」、第二回目「認知症者の理解、アセスメントの視点、コミュニケーション技法」、第三回目「認知症予防とMCI者へのリハビリテーション」、第四回目「認知症の人と家族支援」とし、受講後希望者に地域認知症支援員としてボランティア登録を促す。

研究IV 地域支え合いシステム構築研究

【地域認知症支援員講座】

地域の中で認知症の方やその家族を支える様々な地域活動を行うため、認知症サポーター養成講座修了者、一般住民、事業所職員を対象に「地域認知症支援員（一般住民ボランティア）」を養成するための講座の企画運営に携わった。この研修を通して、33名の地域住民がボランティア登録を行った。

回数	開催日	テーマ	参加人数
第1回	8/18	基礎Ⅰ 認知症のとらえ方・接し方・事例検討	85名
第2回	8/25	基礎Ⅱ 認知症の人の評価と中重度者のリハビリテーション	96名
第3回	9/1	基礎Ⅲ 認知症の予防と軽度者へのリハビリテーション	83名
第4回	11/2	フォローアップ研修 認知症の人に対する評価の視点を深めよう！	25名

- ▼ 研究Ⅱ，Ⅲのボランティアを養成
- ▼ ボランティア養成とアクティビティマップが完成したら大学の支援は一旦打ち切る（覚悟でのぞむ）。

図5 研究IVのボランティア養成講座のイメージ